

主にスタートアップ支援に該当する現在の創業支援施策

1.新宿ビジネス交流会

【事業概要】

区内大学及び関連スタートアップ支援組織と共催で、創業者等の交流する機会を設け、ビジネスマッチングや事業拡大のきっかけづくりを行う。

【対象者】

創業予定または創業から間もない方

- (1) 令和6年度実績：東京理科大学との共催イベント（R6/9/25開催、参加者：68名）
- (2) 令和7年度実績：東京理科大学との共催イベント（R7/10/1開催、参加者：94名）
早稲田大学との共催イベント（R8/3/13開催予定）

【今後の方向性】

過去2回のイベントはいずれも参加者が多く好評であるが、現在は個別大学との単発共催にとどまっている。今後は継続的な支援体制の構築や、複数大学を連結する取組を検討する。

2.新宿ビジネスプランコンテスト

【事業概要】

創業期の事業者の新たな取組を奨励するため、ビジネスプランコンテストを開催し、優れたビジネスプランを表彰するとともに、事業計画のブラッシュアップ及び事業立上げのフォローアップを行う。

【対象者】

新宿区内で創業予定または創業から概ね5年以内で、以下のいずれかの要件を満たす方

- (1) 区内に在住・在学・在勤していること …令和7年度までの応募実績：82.9%
- (2) 区内中小企業者 …令和7年度までの応募実績：17.1%

【支援内容】

- ① ブラッシュアップ支援：書類評価通過者に対し事業計画書の作成支援を実施（アクティベーション）
- ② アフターフォロー支援：入賞者に対して、事業化に向けたアドバイスを実施（最長2年間）
- ③ 高田馬場創業支援センターの施設使用料免除
ファイナリストに対して、事業化の拠点として、区立高田馬場創業支援センターの使用料（月額1万円）を免除（最長2年間）

【課題と今後の方向性】

	課題	今後の方向性
1	事業化に向けた支援は、入賞者（各年度3人）のみが受けられる仕組みとなっており、対象が限られていること。	より多くの創業希望者等を支援する施策（育成プログラム・創業塾等）を実施する。
2	主に創業準備段階にある方が対象となっており、支援が限定的であること。 ※ 新宿ビジネスプランコンテストは創業5年以内の事業者も対象だが、これまでの応募実績で創業済の事業者の応募は非常に少ない（17.1%）。	支援の対象とする成長ステージについて、創業準備段階にある方を主とした施策から、創業後の事業者も対象とした施策に拡大し、それぞれのステージに応じた支援を展開する。

⇒ 新たな創業支援施策と合わせて、新宿ビジネスプランコンテストの見直しを検討していく。